

参 考 资 料

名 譽 市 民

(昭和47年顕彰)

故 南 條 徳 男 氏 (元衆議院議員)

故 山 中 日 露 史 氏 (元衆議院議員)

故 徳 中 祐 満 氏 (元道議会議員)

故 熊 谷 綾 雄 氏 (元室蘭市長)

故 栗 林 徳 一 氏 (元栗林商會會長)

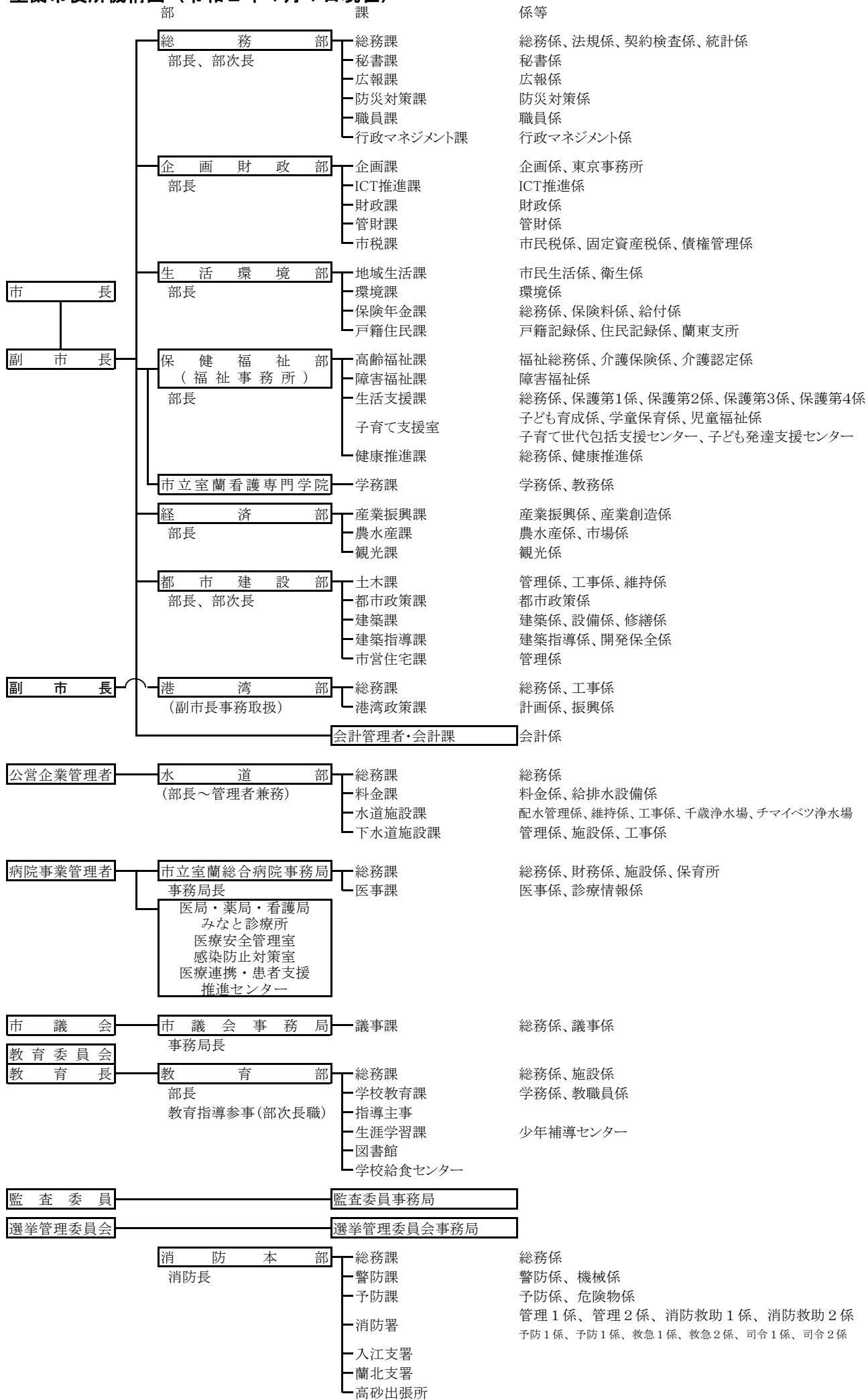
(平成2年顕彰)

故 八 木 義 徳 氏 (作 家)

(平成14年顕彰)

故 池 端 清 一 氏 (元衆議院議員)

室蘭市役所機構図（令和2年4月1日現在）



室蘭市の歴史

西 曆	年 号	主 な で き ご と
1593年	文禄 2 年	室蘭地方松前藩の領地となる。
1796	寛政 8	英船プロビデンス号絵鞆に入港、水夫オルソンを大黒島に葬る。
1854	安政 元	米国ペリー艦隊絵鞆に来港、港内を測量。
1869	明治 2	国郡制により、室蘭郡に属し開拓使所管となる。
1872	5	森（渡島管内）との連絡のため埠頭を築く。室蘭の開港はこれより始まる。 開拓使室蘭出張所設置。
1873	6	函館～室蘭～札幌間の札幌本道完成。
1887	20	屯田兵 1 1 0 戸輪西に移住入植
1891	24	大黒島灯台点火。
1892	25	室蘭～岩見沢間、鉄道による石炭積み出し始まる。
1893	26	室蘭港、第 5 海軍区港に指定。
1894	27	室蘭港、外国貿易の特別輸出港に指定。
1900	33	町村制施行により室蘭町となる。（人口 5, 4 6 1 人）
1907	40	北海道炭礦汽船会社、輪西製鐵所の建設工事開始。 日本製鋼所創設、室蘭工場建設着手。
1909	42	日本製鋼所一部営業開始。輪西製鐵所操業開始。
1911	44	日本製鋼所営業開始。
1915	大正 4	上水道布設工事開始。
1918	7	室蘭町に輪西村外 2 ヶ所を合併して区制を実施（人口 5 8, 3 4 9 人）
1920	9	地球岬灯台点火。
1922	11	市制施行（人口 5 2, 1 5 8 人）
1934	昭和 9	輪西製鐵会社、日本製鐵会社に合併。
1945	20	米軍による空襲、艦砲射撃のため死者 3 9 3 人、重傷軽者 1 6 4 人 行方不明者 1 5 人、建物の全・半壊 1, 1 4 1 戸の大損害を受ける。 （7月 1 4、1 5 日）
1947	22	第 1 回港まつり開催。室蘭港、貿易港に指定。
1949	24	室蘭港、外国民間貿易港に指定。
1953	28	道立水族館開館。
1954	29	日鋼室蘭争議起きる。
1955	30	富士セメント(株)操業開始。
1956	31	日本石油精製(株)室蘭精油所操業開始。
1961	36	富士製鐵(株)室蘭製鐵所に日本最大の第 4 高炉火入れ。
1962	37	安全都市宣言（1 0 月 9 日制定）。道立水族館室蘭市に移管となる。
1963	38	市青少年科学館開館。
1964	39	市文化センター大ホール落成。
1965	40	室蘭港が特定重要港湾に昇格。 ノルウェータンカー「ヘイムバルド号」の火災発生。
1966	41	室蘭市「ばい煙規制法」の指定都市になる。
1968	43	室蘭市名誉市民条例を公布。市中央卸売市場開場。 十勝沖地震発生（5月 1 6 日）、M7. 9、死者 1 名、重軽傷者 3 5 名。

参考資料

西 暦	年 号	主 な で き ご と
1971年	昭和 46 年	室蘭新道着工。白鳥台ニュータウン造成工事竣工。
1972	47	開港100年・市制施行50周年式典。室蘭市民憲章制定。
1974	49	室蘭港の祝津・絵鞆地区の埋立て工事開始。
1976	51	静岡県清水市と姉妹都市提携。
1977	52	新日本製鐵（株）室蘭製鉄所の第2号高炉休止。
1978	53	特定不況業種離職者臨時措置法の地域指定を受ける。 長崎屋なかじま店オープン。
1979	54	室蘭～八戸（青森県）間フェリー航路開設。
1980	55	市民俗資料館開館。記録的な豪雨により市内に被害を受ける。
1981	56	丸井今井室蘭支店・長崎屋室蘭中央店・室蘭ファミリーデパート桐屋 が同時オープン。室蘭新道竣工及び白鳥新道着工。祝津コールセンター 供用開始。イタンキ浜海水浴場オープン。
1982	57	スポーツ都市宣言（10月10日制定）。 新日本製鐵（株）室蘭製鉄所の1号高炉休止により1基体制となる。
1983	58	登別・白老に集中豪雨、市内一部地域断水。
1984	59	新日本製鐵（株）室蘭製鉄所が第3次合理化案。 （株）日本製鋼所室蘭製作所合理化案。
1985	60	室蘭～大洗（茨城県）間フェリー航路開設。白鳥大橋建設本着工。 「北海道自然100選」で地球岬周辺が得票第1位
1986	61	（株）日本製鋼所室蘭製作所が大幅合理化案。 （財）室蘭テクノセンター発足。
1987	62	新日本製鐵（株）室蘭製鉄所が第4次合理化案。 「新日本観光地100選」で地球岬が北海道ブロック第1位 室蘭岳スキー場「むろらん・だんパラスキー場」オープン。 （株）日本製鋼所室蘭製作所が転籍合理化案。
1988	63	新日本製鐵（株）室蘭製鉄所に新溶解法の導入決定。室蘭システム アカデミー開校。室蘭市障害者福祉総合センター開館。室蘭港が 動物等指定検疫物輸入港に制定。入江運動公園陸上競技場オープン。
1989	平成 元	ウインズ室蘭（日本中央競馬会場外勝馬投票券販売所）開設。 シンボル彫刻像（14基）完成（入江運動公園）。
1990	2	日本海直江津フェリー航路開設。 工業大学地域共同研究開発センターオープン。
1991	3	アメリカ合衆国テネシー州ノックスビル市と国際姉妹都市提携。 高速道路室蘭インターチェンジ供用開始。室蘭～大畑（青森県）間 フェリー航路開設。
1992	4	エンルムマリーナオープン。デイサービスセンター白鳥ハイツ開設。 （株）北海道高度情報技術センター（ハイテクス）の発足。 「ゆとり創造宣言都市」の指定。
1993	5	特定中小企業集積活性化法の地域指定。
1994	6	室蘭市いきいき明るい福祉都市宣言（3月31日）

西 暦	年 号	主 な で き ご と
1994年	平成 6 年	特別養護老人ホーム「エンルムハイツ」開園。三菱製鋼室蘭特殊鋼（株）操業開始。室蘭岳山麓総合公園オープン。入江運動公園温水プールオープン。フェリー埠頭第4バース供用開始。神代町新最終処分場使用開始。
1995	7	市立病院総合病院移転改築工事スタート。 新潟県上越市と姉妹都市提携。
1996	8	室蘭港外国貿易船入港30,000隻達成。
1997	9	市立八丁平小学校開校。市立室蘭総合病院移転改築診療開始。 道地域産業支援センター開設。
1998	10	崎守第6岸壁に多目的クレーン（ガントリークレーン）設置。 白鳥大橋のライトアップ・イルミネーションと白鳥大橋記念館のための風力発電施設が発電開始。白鳥大橋記念館「みたら」が道の駅に指定される。白鳥大橋開通。
1999	11	消防総合庁舎完成。平和都市宣言を市議会で議決。旧室蘭駅舎が国の有形文化財に登録される。風力発電施設（2号機）稼働。 旅客船専用バース供用開始。室蘭市名誉市民 八木義徳さん死去。 測量山ライトアップ点灯継続4,000日達成。
2000	12	西いぶり廃棄物処理広域連合発足。 有珠山が23年ぶりに噴火。 白鳥大橋パークゴルフ場オープン。 刀匠の堀井胤次さんが無形文化財に指定される。
2001	13	「西いぶり廃棄物広域処理施設」の本体工事スタート。 新日本製鐵（株）室蘭製鉄所の第2高炉の改修工事行われる。 （11月21日から稼働開始） 日本女子オープンゴルフ選手権開催（室蘭ゴルフ倶楽部白鳥コース）。 知的障害者通所授産施設「あけぼの」オープン。
2002	14	新日本製鐵（株）室蘭製鉄所が道内第1号の売電事業参入。 新日本製鐵（株）室蘭製鉄所の廃プラスチックリサイクルセンターが稼働 室蘭と本州を結ぶ大洗（茨城県）とのフェリー航路が運休となった。 輪西町に芸能・文化の交流拠点、新市民会館がオープンした。 開港130年・市制施行80年記念式典が文化センターで開催された。 式典では、「中国・日照市との友好都市締結調印式」「ものづくりのマチ」宣言が行われた。
2003	15	生活協同組合コープクレアが自己破産を申請。 環境省が室蘭でのPCB（ポリ塩化ビフェニール）廃棄物処理施設実施計画を認可。 海陽小学校が開校。大和小学校と東園小学校の統合により、市内で最大の小学校となった。 西胆振廃棄物処理広域処理施設「メルトタワー21」の落成式が行われた。 檜崎製作所が民事再生法の適用を申請。

西 暦	年 号	主 な で き ご と
2003年	平成 15 年	東日本フェリーが会社更生法の適用を申請。室蘭の3航路の存続に向けた要請活動の結果、中核スポンサーと事業管財人が決まる。 室蘭港浮体式防災施設（防災フロート）の進水式が行われた。
2004	16	東北地方など15県のPCB廃棄物処理の受け入れを表明。PCB処理事業は、平成18年度開始の予定。 祝津温泉利用施設整備事業の事業契約者決定。平成17年4月オープン予定。 会社更生法手続き中の「東日本フェリー」の再建に、広島県呉市に本社を置く「リベラ」が支援を表明。
2005	17	室蘭市の人口（住民基本台帳）が3月末で99,113人。昭和22年以来、58年ぶりに10万人台を割った。10月末では99,590人。
2006	18	平成17年国勢調査の確定値発表。室蘭市の人口は98,372人。 胆振支庁合同庁舎の移転先ビルの特別目的会社が設立された。 成徳中学校と御前水中学校を統合した星蘭中学校が開校。
2007	19	大型商業施設MORUE中島オープン。 母恋小学校と朝陽小学校を統合した、地球岬小学校が開校。
2008	20	胆振初のコミュニティ放送「FMびゅー」が開局。 41年間にわたるフェリー航路が廃止される。
2009	21	文化女子大学室蘭短期大学が閉校。 むろらん広域センタービルが完成し、市の一部窓口業務が移転。 浜町アーケードが撤去された。 鳩山由紀夫衆議院議員が室蘭から北海道初の総理大臣に選出される。 定住自立圏構想推進に向けた中心市宣言を行う。
2010	22	北海道丸井今井室蘭店が閉店。 環境や安全に配慮した廃船の再資源化を目指した解体実験が開始された。 北海道の支庁再編に伴い、胆振支庁が胆振総合振興局に移行。 市立室蘭看護専門学院が旧文化女子大学室蘭短期大学の校舎に移転。 中島小学校と日新小学校を統合した旭ヶ丘小学校が開校。 鳩山由紀夫首相が退陣を表明。 西いぶり定住自立圏形成協定が、室蘭市・登別市・伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町との間で結ばれる。 室蘭市の人口（住民基本台帳）が9月末で9万5千人を割る。 新チマイベツ浄水場完成。
2011	23	「市立室蘭みなと診療所」開院（旧船員保険診療所跡）。 東日本大震災（3/11発生）により、全市をあげて人員派遣、義援金、物資等の支援を行う。 鶴ヶ崎中学校と東中学校を統合した翔陽中学校が開校。 天皇陛下が、道立栽培水産試験場を視察のため来蘭。
2012	24	室蘭市外海岸の景勝地が「名勝ピリカノカ絵鞆半島外海岸」として国の文化財に指定。 蘭東中学校と向陽中学校が統合して桜蘭中学校が開校。 「SLみなと室蘭140周年記念号」が室蘭⇄登別間を運行。

西 暦	年 号	主 な で き ご と
2012年	平成 24 年	<p>新日本製鐵(株)が住友金属工業(株)と合併。世界第2位の鉄鋼メーカー、新日鐵住金(株)が誕生。</p> <p>白鳥台に市営共同浴場「白鳥の湯」がオープン。</p> <p>J X日鉱日石エネルギー(株)が石化工場化による事業再構築を発表。市や商工会議所などが存続・維持を求める署名活動を開始。</p> <p>「全国工場夜景サミット in むろらん」開催。</p> <p>北海道電力の送電線事故により大規模停電発生(11/27～28)、室蘭市で延べ22,578戸が停電。</p>
2013	25	<p>(株)日本製鋼所室蘭製作所が、洋上風車を北九州へ初出荷。</p> <p>北辰中学校・港南中学校が統合され、室蘭西中学校が開校。</p> <p>追直漁港沖合人工島「Mランド」の共用式が行われ、室蘭の増養殖支援の新たな拠点として本格始動。</p> <p>自動車用歯車製造の大岡技研(株)の室蘭工場が稼働開始。</p> <p>白鳥大橋が開通から15周年を迎える。</p> <p>保冷材製造の(株)アイスジャパンの保冷剤を乗せた宇宙ステーション補給機「こうのとりのり」が打ち上げ。国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」で使用する実験機材の保存用冷凍冷蔵庫などに採用。</p> <p>P C B廃棄物処理増設施設が操業を開始。</p>
2014	26	<p>八丁平の未利用市有地に建設されたメガソーラーが売電を開始。</p> <p>J X日鉱日石エネルギー(株)室蘭製油所が「室蘭製造所」改称。</p> <p>スーパーアークス室蘭中央店が、旧長崎屋室蘭中央店跡にオープン</p> <p>室蘭市の人口(住民基本台帳)が10月末で89,953人。昭和14年以来75年ぶりに9万人台を割った。</p>
2015	27	<p>消防署蘭北支署が業務スタート(本輪西支署と白鳥台出張所の統合)。</p> <p>国民一人一人に指定されたマイナンバーの通知カードの発送が開始。</p> <p>第20回国勢調査を実施。調査結果の速報値を公表。43,552世帯、88,585人(男:43,135人、女:45,450人)</p>
2016	28	<p>蘭北小学校開設(本輪西小学校と高平小学校を統合)。</p> <p>室蘭港-宮古港フェリー航路開設(平成30年6月予定)が決定。</p> <p>「バイオマス発電」が蘭東下水処理場で開始。</p> <p>第20回国勢調査の確定値公表。43,616世帯、88,564人(男:43,143人、女:45,421人)平成22年調査より、1,413世帯・5,971人の減少。</p>
2017	29	<p>室蘭市の高齢化率が36.1パーセントとなり、過去最高を更新。</p> <p>JXTGエネルギー(株)が、平成31年3月末で室蘭製造所での石油・石油化学製品の生産を停止し、物流拠点に転換すると発表。</p>
2018	30	<p>北海道胆振東部地震発生。避難所には最大175世帯283人が自主避難。</p> <p>宮蘭フェリーが6月22日就航。10月6日からは、八戸港にも寄港。</p>
	令和 元	<p>空知、室蘭、小樽を石炭、鉄鋼、港湾、鉄道のストーリーで結ぶ「本邦国策を北海道に観よ!～北の産業革命『炭鉄港』～」が日本遺産に認定。</p>
	2	<p>日本製鉄が第2高炉を改修、11月に火入れした。</p>